

2011.9.13 (ver.1)

植物科学最先端研究拠点ネットワーク「光合成特性用細胞操作イメージング解析拠点」
『一細胞採取システム』支援について

名古屋大学
GCOE ライブイメージングセンター

仕様

超微小流量の吸引・吐き出しをなめらかに行い、種々の細胞からバクテリアまで微粒子をひとつずつ取り出すことができるピコピペット（アルテア技研）を設置しています。また、ピコピペットに装着して使用するガラスキャピラリーのプレーとして P-1000 IVF（SUTTER）が整備してあります。

<http://www.altair.co.jp/pg02.html>

<http://www.primetech-jp.com/01products/sutter.html> をご参照ください。

利用の流れ

- ① 事前打ち合わせ（目的、対象、必要器具など）
- ② 申請書の提出、審査
- ③ 採択の連絡、支援開始、日程調整
- ④ ピコピペット（アルテア技研）を用いて解析
- ⑤ 解析サンプルおよびデータの受け渡し、論文化の相談など

利用する上での注意点

- ・目的細胞に適したガラスキャピラリーの成形について条件検討が必要となります。

参考文献

特にありません。

費用負担

基本利用情報に準じます。解析に必要な経費(ガラスキャピラリー、ディッシュなど)や、利用者の旅費・宿泊費等(学内宿泊施設あり)は、原則として依頼者が負担してください。

Authorship

成果発表の際には、事前に相談して下さい。また、Acknowledgments 等に以下の内容の記載をお願いいたします。

(例) This research was supported by Japan Advanced Plant Science Network.

支援開始の時期

平成 23 年 10 月 3 日（月）より支援開始の予定です。

連絡先

hamamura@bio.nagoya-u.ac.jp 052-789-2970 浜村有希

(GCOE ライブイメージングセンター チーフコーディネーター)

higashi@bio.nagoya-u.ac.jp 052-747-6404 東山哲也

(名古屋大学 大学院理学研究科 教授)